

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	程度が生徒の実態に即して適当であり、教科・科目の目標にも適合している。またその目標を達成するように適切な創意・工夫がなされている。
	地理歴史	写真や図などの資料が掲載されているので情報を視覚に頼る生徒の学習理解の手助けになる。また、程度が生徒の実態に即し適当であると考えているから。
	公民	写真や図などの資料が掲載されているので情報を視覚に頼る生徒の学習理解の手助けになる。また、程度が生徒の実態に即し適当であると考えているから。
	数学	程度が本校の生徒の理解度に合っていて理解しやすい。内容が教科・科目の目標に適している。
	理科	内容が教科・科目の目標に適合しており、その目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。また、程度が本校生徒の実態に即し、適当である。
	保健体育	程度が生徒の実態に即し適当であるのと、本文、図表が鮮明で見やすいため。
	芸術	美術：内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で教科・科目の目標に適合している。障がいその他の特性の有無にかかわらず、生徒にとっても読みやすい。 音楽：程度が本校の生徒の実態に即し、適切であり、教科の目標を達成するよう、適切な創意工夫がなされている。
	外国語	内容が生徒の興味を持てるようなものが多く、程度も本校生徒の実態に合っており、適当だと考える。
	家庭	生徒の実態に合った創意工夫のある内容であり、教科の目標を達成するための適切な分量になっている。
	情報	目標を達成するための適切な創意工夫がなされており、生徒にとって読みやすいものになっている。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	内容及び程度が科目の目標・生徒の実態にそれぞれ適合しているため。
	工業	目標を達成するための適切な創意工夫がなされており、生徒にとって読みやすいものになっている。
	商業	目標を達成するための適切な創意工夫がなされており、生徒にとって読みやすいものになっている。
	水産	
	家庭	生徒の実態に合った創意工夫のある内容であり、教科の目標を達成するための適切な分量になっている。
	看護	
	情報	
	福祉	